

★ ネギ ネギハモグリバエ情報 ★

被害の激しいほ場が見られます 今後の発生に注意してください

本年10月中旬に調査したところ、山城地域のネギ産地を中心にネギハモグリバエの幼虫による被害が目立っています。

表 ネギハモグリバエの発生状況(平成30年10月)

	被害株率(%)	被害度	発生ほ場率(%)
本年	49.6	12.4	100.0
平年値	65.4	17.8	97.8

調査時期:10月18日、山城地域6か所調査

平年値は、過去10年間の平均値

ほ場外から遠目で見ると葉先枯れのように見えますが(写真1)、これまでのネギハモグリバエ(写真2)の加害様式とは異なり、複数頭のネギハモグリバエの幼虫が1葉に集中的に加害するため(写真3及び4)、部分的に白変し、枯れたように見えます。

発生生態及び防除上注意すべき事項

- (1) 幼虫が葉肉部分を加害し、白い筋状の食害痕を残す。
- (2) 産卵から羽化までの発育所要日数は20℃で約36日、25℃で約23日である。
- (3) 被害葉及び収穫残さは本種の発生源となるので、残さはほ場内に放置せず、一か所にまとめて積み上げ、表面をビニルで被覆する等適切に処分する。



写真1 ネギハモグリバエ被害が目立つほ場



写真2 ネギハモグリバエ(成虫)



写真3 幼虫による初期の被害葉



写真4 幼虫被害が目立つ株

「ネギ」でネギハモグリバエ(ハモグリバエ類)に登録のある主な農薬(平成30年10月30日現在)

IRACコード*	農薬名	希釈倍数・使用量	使用時期	使用回数	使用方法	総使用回数	備考
1B	ダイアジノン乳剤40	1000~2000倍	収穫21日前まで	2回以内	散布	2回以内	ネギハモグリバエ
3A	アグロスリン乳剤	2000倍	収穫7日前まで	5回以内	散布	5回以内	ネギハモグリバエ
4A	アクタラ顆粒水溶剤	1000~2000倍	収穫3日前まで	3回以内	散布	4回以内 (但し、定植時までの処理は1回以内、散布は3回以内)	ネギハモグリバエ
4A	アクタラ粒剤5	6~9kg/10a	植付時	1回	作条混和	4回以内 (但し、定植時までの処理は1回以内、散布は3回以内)	ネギハモグリバエ
4A	アドマイヤーフロアブル	200倍 0.5L灌注/ セルトレイ、ペーパーポット	定植前日~定植時	1回	灌注	3回以内 (但し、定植時までの処理は1回以内、散布は2回以内)	ネギハモグリバエ
4A 28	アベイル粒剤	40g/ セルトレイ、ペーパーポット	育苗期後半~ 定植当日	1回	株元散布	アセタムプリド(モスピラン:IRACコード4A) 3回以内(但し、は種時の土壌混和は1回以内、植付時の土壌混和及び定植当日までの株元散布は合計1回以内) シアントラニプロール(ネネビア:IRACコード28) 4回以内 (但し、定植時までの処理は1回以内、定植後の処理は3回以内)	ネギハモグリバエ
4A	スタークル粒剤 アルバリン粒剤	6kg/10a	は種時	1回	播溝土壌混和	4回以内4回以内 (は種時の土壌混和、育苗トレイへの灌注及び定植時の株元散布は合計1回以内、生育期の株元灌注は1回以内、散布及び定植後の株元散布は2回以内)	ハモグリバエ類
		6~9kg/10a	定植時		株元散布		
	スタークル顆粒水溶剤 アルバリン顆粒水溶剤	50倍、 0.5L灌注/ セルトレイ、ペーパーポット	生育期 但し、収穫3日前まで	2回以内	株元散布		
		400倍	定植前日~定植時	1回	灌注		
4A	スタークル顆粒水溶剤 アルバリン顆粒水溶剤	50倍、 0.5L灌注/ セルトレイ、ペーパーポット	定植前日~定植時	1回	灌注		
4A	スタークル顆粒水溶剤 アルバリン顆粒水溶剤	400倍	生育期 但し、収穫14日前まで	1回	株元灌注		
4A	ダントツ水溶剤	2000~4000倍	収穫3日前まで	4回以内	散布	4回以内 (但し、定植時までの処理は1回以内)	ネギハモグリバエ
4A	ダントツ粒剤	6kg/10a	は種時	1回	作条処理土壌混和	4回以内 (但し、定植時までの処理は1回以内)	ネギハモグリバエ
		6kg/10a	植付時	1回	播溝処理土壌混和		
		3~6kg/10a	収穫3日前まで	4回以内	株元散布		
4A	ベストガード水溶剤	1000倍	収穫前日まで	3回以内	散布	4回以内 (但し、定植時までの処理は1回以内、株元処理及び水溶剤の散布は合計3回以内)	ネギハモグリバエ
		5g/培土	は種時	1回	育苗培土混和		
		6kg/10a	定植時	1回	植溝土壌混和		
4A	ベストガード粒剤	6kg/10a	収穫前日まで	3回以内	株元処理		
		6kg/10a	定植時	1回	植溝土壌混和		
4A	モスピラン粒剤	0.25~0.5g/株	定植前日~ 定植当日	1回	株元散布	3回以内 (但し、は種時の土壌混和は1回以内、植付時の土壌混和及び定植当日までの株元散布は合計1回以内)	ネギハモグリバエ
5	ディアナSC	2500~5000倍	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内	ネギハモグリバエ
6	アグリメック	500~1000倍	収穫3日前まで	3回以内	散布	3回以内	ネギハモグリバエ
6	アニキ乳剤	1000倍	収穫3日前まで	3回以内	散布	3回以内	ハモグリバエ類
6 15	アフームエクスラ顆粒水和剤	1000倍	収穫7日前まで	3回以内	散布	イマメクチン安息香酸(アフーム:IRACコード6) 3回以内 ルフェスロン(マッチ:IRACコード15) 3回以内	ネギハモグリバエ
28 4A	キックオフ顆粒水和剤	100倍 0.5L灌注/ セルトレイ、ペーパーポット	定植前日~定植時	1回	灌注	クロラントラニプロール(プレバソ:IRACコード28) 4回以内 (但し、灌注は1回以内、散布は3回以内) ジノフラン(スタークル、アルバリン:IRACコード4A) 4回以内 (但し、は種時の土壌混和、育苗トレイへの灌注及び定植時の株元散布は合計1回以内、生育期の株元灌注は1回以内、散布及び定植後の株元散布は合計2回以内)	ハモグリバエ類
28 4A	ジュリボフロアブル	200倍 0.5L灌注/ セルトレイ、ペーパーポット	育苗期後半~ 定植当日	1回	灌注	クロラントラニプロール(プレバソ:IRACコード28) 4回以内(但し、灌注は1回以内、散布は3回以内)	ネギハモグリバエ
28	プレバソフロアブル5	100倍 0.5L灌注/ セルトレイ、ペーパーポット	育苗期後半~ 定植当日	1回	灌注	4回以内 (但し、灌注は1回以内、散布は3回以内)	ハモグリバエ類
28	プレバソフロアブル5	2000倍	収穫3日前まで	3回以内	散布		
28	ベネビアOD	2000倍	収穫前日まで	3回以内	散布	4回以内 (但し、定植時までの処理は1回以内、定植後の処理は3回以内)	ハモグリバエ類
28	ベリマークSC	400倍 0.5L灌注/ セルトレイ、ペーパーポット	育苗期後半~ 定植当日	1回	灌注	4回以内 (但し、定植時までの処理は1回以内、定植後の処理は3回以内)	ハモグリバエ類
		2000倍	収穫7日前まで		株元灌注		
28 4A	ミネクトデュオ粒剤	40g/ セルトレイ、ペーパーポット	育苗期後半	1回	散布	シアントラニプロール(ネネビア:IRACコード28) 4回以内 (但し、定植時までの処理は1回以内、定植後の処理は3回以内) チアトキサム(アクタラ:IRACコード4A) 4回以内(但し、定植時までの処理は1回以内、散布は3回以内)	ハモグリバエ類
		6kg/10a	定植時		作条散布		
		6kg/10a	定植時		植溝土壌混和		
UN **	ファインセーブフロアブル	2000倍	収穫3日前まで	2回以内	散布	2回以内	ネギハモグリバエ

*殺虫剤コード。殺虫剤の有効成分を作用点と作用機構から分類した番号や記号のことで、本コードが異なる薬剤を使用することにより、同一系統の薬剤の連用を防ぐことができる。
 作用機構が不明あるいは不明確な薬剤 *IRACの分類に該当しないもの
 セルトレイ、ペーパーポット処理は、セルトレイ1箱、ペーパーポット1冊に処理